

## 近接排気騒音規制に関する今後の検討事項

### 1. 基本的考え方

近接排気騒音規制について、現行の絶対値規制から相対値規制に変更した場合、自動車（新車）の認証時には近接排気騒音は測定のみとなり、規制がかからないこととなる。このため、相対値規制への変更について検討するにあたり、現在の絶対値規制を満たさないような新車が導入されることがないかを中心に検討を行う。

### 2. 調査検討

#### （1）相対値規制の導入について

交換用マフラーの事前認証時における騒音値と新車の認証時における騒音値及び近接排気騒音規制値（絶対値）とを比較し、相対値規制に変更した場合の効果を検討するとともに、使用過程での劣化に対する対策等の課題も検討する。

#### （2）絶対値規制の廃止について

近接排気騒音と加速走行騒音の間に一定の関係が認められれば、絶対値規制を廃止した場合でも、現行の規制レベルを確保することが可能となることから、近接排気騒音と加速走行騒音の低減技術の関係について検討する。

### 3. スケジュール

今年度は、交換用マフラーの事前認証時の騒音値等の実態についてデータ収集・分析を行う。また、近接排気騒音と加速走行騒音との関係については、今年度、加速走行騒音試験法に関する調査・検討を重点的に実施するため、その結果も踏まえ、23年度に検討する。